

WEB 公開シンポジウム

大規模災害に備える地域づくり

令和時代の日本は「いつか」必ず来る巨大地震、そして「いつも」やって来る気象災害への備えが必要です。

本シンポジウムでは都市防災研究の第一人者かつ、自主防災会で地区の防災の推進に奮闘されている梶秀樹氏（筑波大学 名誉教授）、黒潮町町長の松本敏郎氏、高知大学防災推進センター長の笹原克夫氏を迎えて、防災の当事者である地区の皆さんと研究者が手を取り合い、令和時代の新しい「大規模災害に備える地域づくり」をどう進めていくべきか考えます。

日時

2021 年

10 月 10 日（日）

14:30-16:30

配信方法

ライブ配信（ZOOM ウェビナー）

こちらのQRコードを読み取りいただくか、下記のURLでアクセスしてください。（氏名・メールアドレスの登録が必要です）

<https://zoom.us/j/96255228756>

パスコード：917946

参加費：無料
（先着：500名）



基調講演・パネリスト

筑波大学 名誉教授

梶 秀樹

1942年生まれ。東京工業大学大学院博士課程修了、工学博士。筑波大学教授、国際連合地域開発センター所長、慶應義塾大学教授などを経て、2014年（一社）地域防災支援協会理事に就任。東京都防災会議地震部会委員、東京消防庁火災予防審議会副会長などを歴任。筑波大学名誉教授



パネリスト

高知県黒潮町 町長

松本 敏郎

1956年 高知県幡多郡黒潮町生まれ。1975年 高知県立中村高等学校卒業
1975年 大方町役場入庁 2012年より情報防災課課長として町の防災力向上に尽力 2017年 3月 黒潮町役場 退職 2018年 5月NPOあかつき理事長
2020年10月より黒潮町長に就任し、更なる防災の推進に取り組んでいる。



パネリスト

高知大学防災推進センター
センター長

笹原 克夫

1989年3月京都大学大学院農学研究所修士課程修了（林学専攻）。同年4月新潟県土木部技師。1991年4月建設省土木研究所砂防部急傾斜地崩壊研究室研究員となり、斜面崩壊の発生予測を研究。JICA専門家として1996年3月から1999年6月までインドネシア共和国公共事業省へ派遣。2001年4月国土交通省国土技術政策総合研究所主任研究官となるも、同年10月国土交通省河川局砂防部課長補佐。土砂災害警戒情報の立ち上げを行う。2004年4月独立行政法人土木研究所上席研究員。2005年4月高知大学教授



コーディネーター

高知大学防災推進センター
危機管理分野 准教授

大槻 知史

1976年 京都市生まれ2004年 立命館大学政策科学研究科博士後期過程修了。
博士（政策科学）立命館大学歴史都市防災研究センターなどを経て、2009年 高知大学地域協働教育部門准教授
高知大学 地域協働学部/防災推進センター 准教授、立命館大学 歴史都市防災研究センター 客員研究員、福島大学 うつくしまふくしま未来支援センター客員研究員

